

与謝野町公共施設白書

施設カテゴリー編



15

公共交通施設

1 5 公共交通施設

その1 施設の概要

与謝野町で管理運営している公共交通施設は与謝野駅舎です。与謝野駅舎は与謝野町の玄関として京都丹後鉄道を利用して通勤・通学・観光・帰省などで多くの方にご利用いただいています。

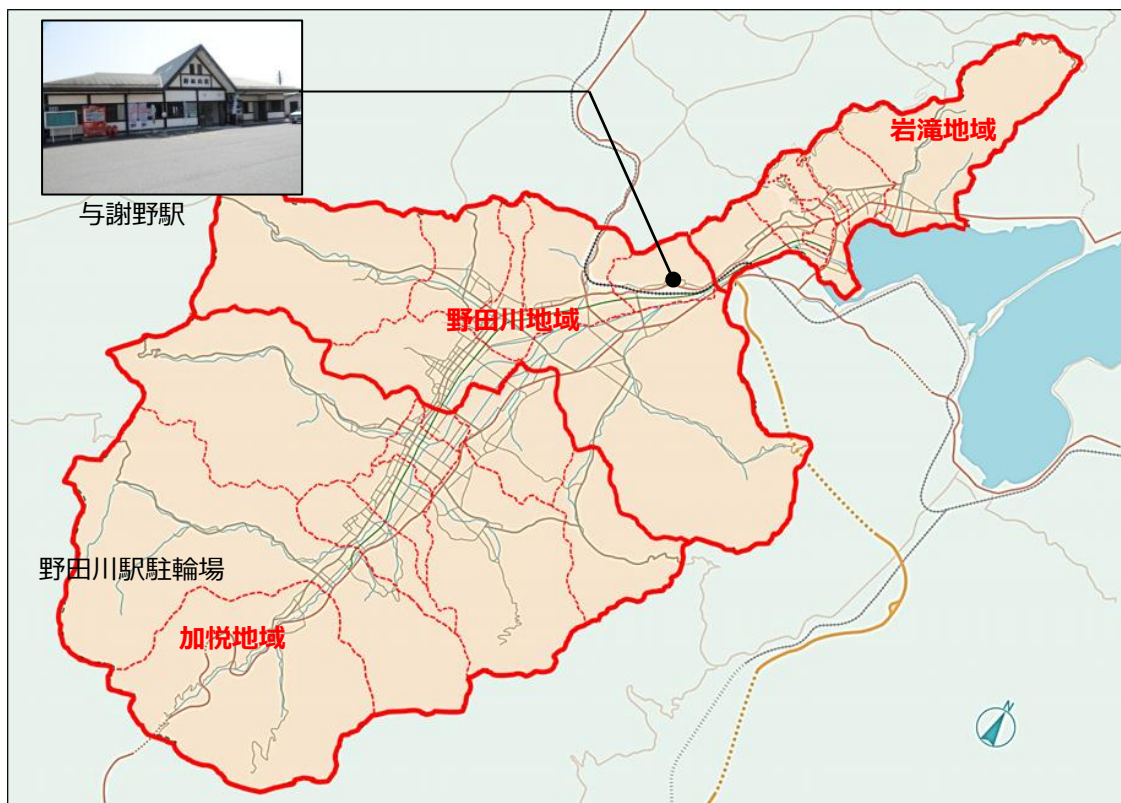
与謝野駅は、旧国鉄時代から「丹後山田駅」として長年人々に親しまれてきました。平成2年に西日本旅客鉄道（JR 西日本）から運行業務を引き継いだ北近畿タンゴ鉄道（KTR：京都府をはじめ沿線自治体が出資する第3セクター鉄道会社）「野田川駅」として旧野田川町が整備し、現在の外観になりました。その後、平成27年にKTRの運行業務をWILLER TRAINS（京都丹後鉄道）が引き継いだ際に「与謝野駅」に名称変更しました。

【公共交通施設一覧】

施設名	所在地	面積（㎡）		建築年	運営形態
		敷地	延床		
与謝野駅舎	下山田1333番地の2	1227.2㎡	148.0㎡	H2	直営

※ホームはKTR所有であり、与謝野町所有は駅舎と駐輪場です。

【施設位置図】



その2 施設の物理的状況

与謝野駅舎は北近畿タンゴ鉄道が開業された平成2年に旧丹後山田駅舎を建替えて建設されました。駅舎前の駐輪場は丹後山田駅時代のものそのまま、平成19年に旧加悦鉄道の線路の跡地である自転車道側にも新たな駐輪場を整備しました。

① 老朽化の状況

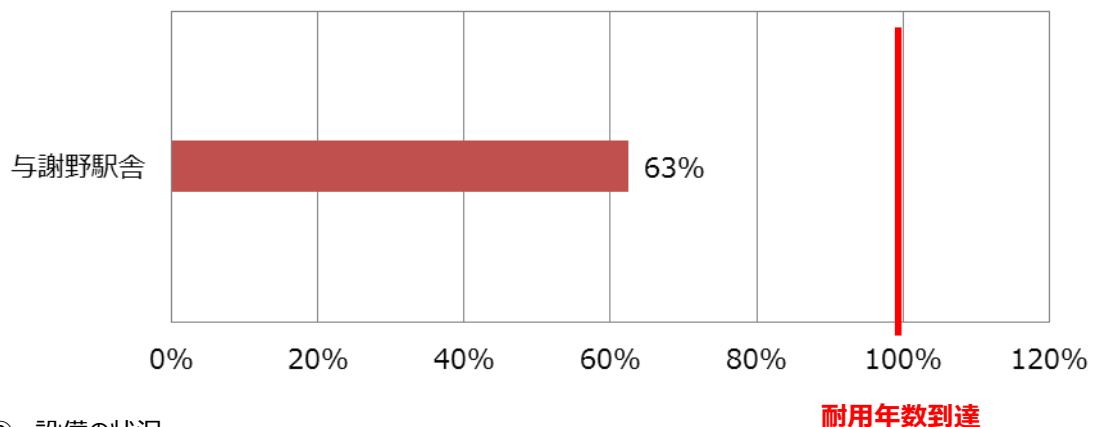
与謝野駅舎は平成2年に建設され25年が経過しています。ところどころ老朽化していますが修繕するなどして対応しています。平成19年度に外壁などを改修し、平成26年度にはトイレ改修を行っています。

【公共交通施設老朽化一覧】

施設名	構造	老朽化状況			耐震性
		建築年	耐用年数到達	老朽化率	
与謝野駅舎	鉄骨造 1 階建	H2	H42	63%	有

※鉄骨造の耐用年数は40年を想定しています。

※老朽化率は経過年数/耐用年数で算出しています。100%を超えると耐用年数超過となります。



② 設備の状況

駅舎には駐輪場が3つ整備されています。平成19年度に整備された自転車道側の駐輪場は利便性が良く、高校生などの利用が集中しています。バリアフリー化については特段配慮されている施設ではありませんが、段差などの不具合は最小限となっています。多目的トイレは平成26年度に整備しました。

施設名	駐輪場	バリアフリー状況					
		多目的 トイレ	玄関 スロープ	自動ドア	手すり	点字 ブロック	エレベーター
与謝野駅舎	3	○	-	-	-	-	-



駐輪場駅舎前①



駐輪場駅舎前②



駐輪場自転車道側

③ 防災の状況

与謝野駅の防災状況を見ると、特に災害警戒区域などには指定されておらず、水害・地震時の避難所に指定されています。

施設名	避難所指定		警戒区域の指定		
	水害	地震	浸水想定区域	土砂災害（特別）警戒区域	
				急傾斜地の崩壊	土石流
与謝野駅舎	○	○	—	—	—

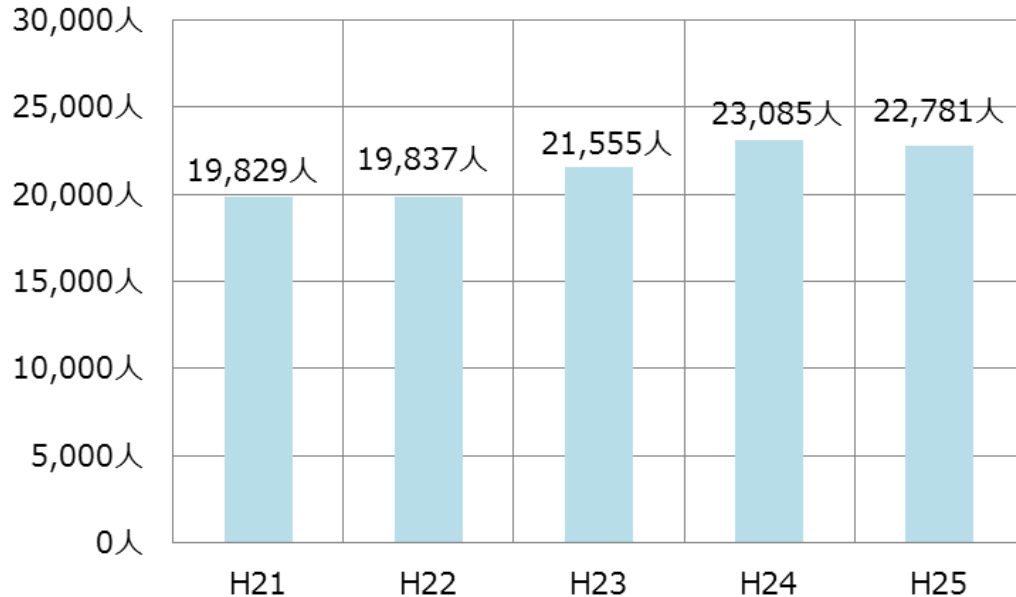
その3 施設の利用状況

① 発券状況

駅の利用頻度を切符の発券数で示しています。平成23年度から実施しています「高齢者片道200円レール」や観光型車両の導入などにより、高校生の通学以外の利用が増え、発券人数も増加傾向にあります。

施設名	切符の発券人数				
	H21	H22	H23	H24	H25
与謝野駅舎	19,829人	19,837人	21,555人	23,085人	22,781人

【与謝野駅発券人数推移グラフ】



その4 コスト状況

① 管理・運営コスト

現在の与謝野駅管理・運営に係る管理面での年間コストは以下のとおりです。

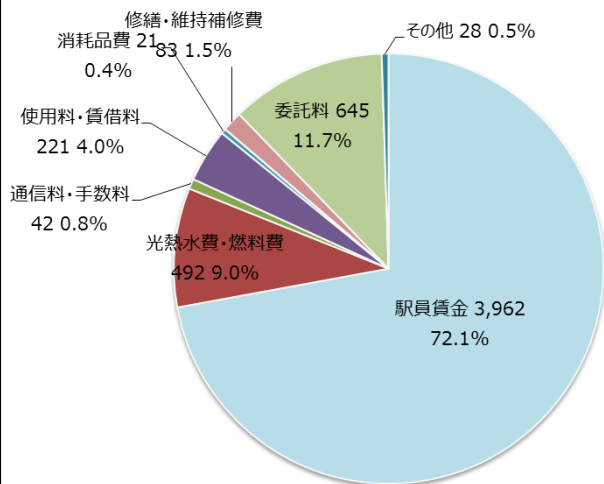
【公共交通施設管理・運営コスト一覧】 (単位：千円)

項目	与謝野駅舎
駅員賃金	3,962
光熱水費・燃料費	492
通信料・手数料	42
使用料・賃借料	221
消耗品費	21
備品購入費	0
賄・医薬材料費	0
修繕・維持補修費	83
委託料	645
指定管理料	0
その他	28
合計	5,494

※金額は平成25年度の実績額です。

【公共交通施設管理・運営コスト内訳グラフ

(単位：千円)】



与謝野駅で主なコストは駅員賃金です。委託料は地元区に清掃委託している分です。

【参考：平成25年度売上収入】 (単位：千円)

項目	総売り上げ		
		JR分	KTR分
売上収入	36,771	12,260	24,511

⇒

販売手数料	998
-------	-----

与謝野町の収入

※平成25年度分ですので、鉄道運営はKTR（北近畿タンゴ鉄道）です。

② 整備コスト（建替え・解体コスト）

【整備時期の考え方】

☆耐用年数到達年に同等施設（同じ延床面積）に建替え。

☆耐用年数経過している建物は5年以内に同等施設（同じ延床面積）に建替え。

☆建替える必要がないと考えられる建物は耐用年数到達時に解体（耐用年数を既に経過している場合は5年以内に解体）

【コストの考え方】

建替えコストは総務省明示のコストを参考に単価を設定しました。

○建替えコスト・・・36万円/㎡（解体費含む：その他施設）

○解体コスト・・・3万円/㎡

これらの単価に現在の延床面積を乗じて算出したコストは以下のとおりです。

【公共交通施設整備等コスト一覧】

(単位：千円)

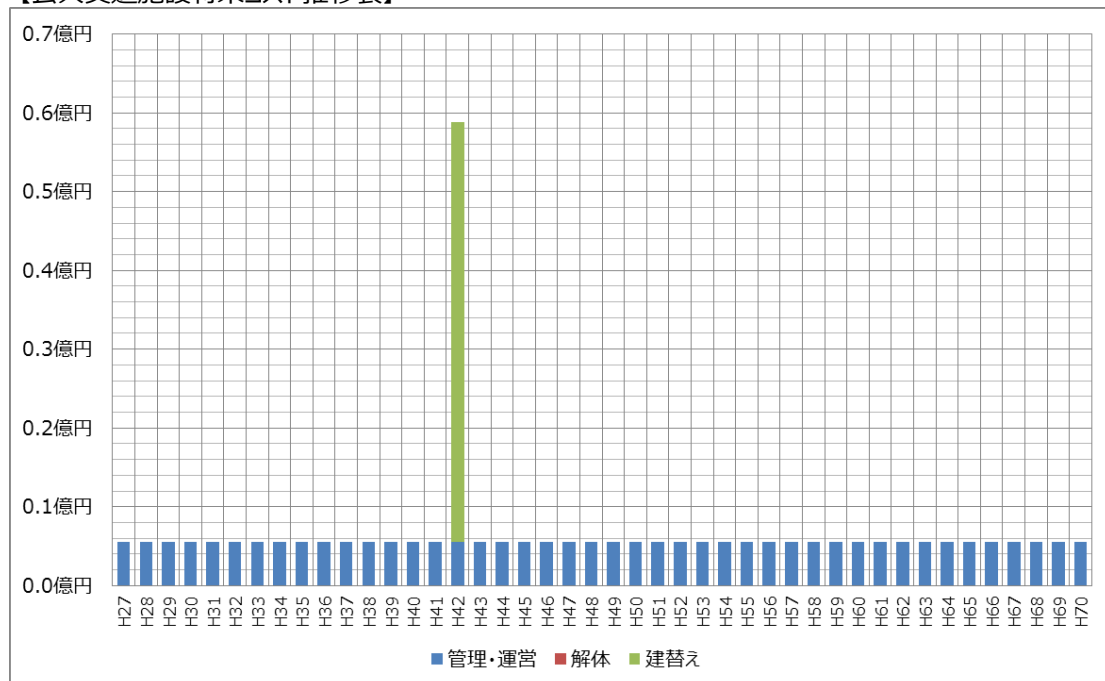
施設名	建築年	耐用年数	当初建設費	建替え		解体	
				実施年度	コスト (解体費含む)	実施年度	コスト
与謝野駅舎	H2	40年	51,385	H42	53,280	参考	4,440
合計					53,280	合計	4,440

※解体コストは参考です。

※駐輪場は除いています。

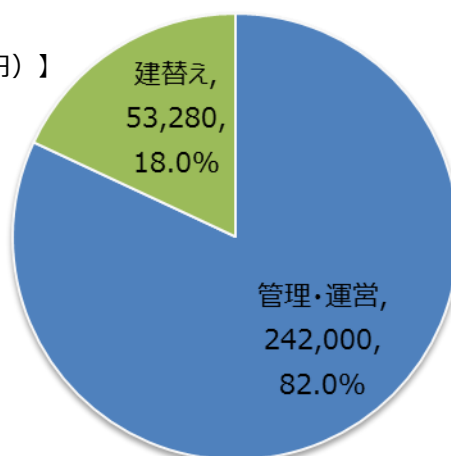
管理・運営コスト（平成25年度実績をベースに横置き）も含めた将来コストの推移は以下のとおりです。

【公共交通施設将来コスト推移表】



コスト総額約 2.9 億円（整備 0.5 億円、解体 0 億円、管理・運営 2.4 億円）

【公共交通施設将来コスト内訳グラフ（千円）】



その5 まとめ

1 現状・課題

●利用状況

与謝野駅の利用状況については、高齢者片道 200 円レールや観光型車両の導入、公共交通の利用促進により、増加傾向にあります。

●老朽化状況

与謝野駅は平成 27 年現在で築 25 年経過しており、鉄骨造の耐用年数を 40 年と想定すると、耐用年数到達まで 15 年、老朽化率は 63%となっています。施設自体は平成 19 年度に外壁等の改修を行うなど与謝野町の玄関口としてある程度整備を行っており、平成 26 年度にも特に観光客の利便性向上を目的としてトイレ改修を行っています。基本的には利用者みなさんに丁寧にご利用いただいておりますので、早急に対応が必要な要素はないと考えられます。

●コスト状況

管理・運営コストは、駅員賃金が大きな割合になっています。現在、臨時職員 3 名が交替で朝 6 時～夕方 6 時までの勤務に当たっています。駅の運営は年中無休です。

一方で整備コストですが、試算すると当初建設費と同等となっています。本白書では便宜上建替える想定でコスト計算をしていますが、実際は利用用途が切符の販売と待合といったことなので、急激に機能を損なうといったことが考えにくく、耐用年数が到来しても建替えるのではなく、改修などの対策をとることになると考えられます。

●現状のまとめ

与謝野駅は町内唯一の鉄道駅舎であり、高校生や観光客、帰省客の大切な交通手段となっています。当然のことながら駅舎の行く末は鉄道運営に握られており、現状では鉄道運営が続く限り駅舎廃止とはな

らないと考えます。新しく WILLER TRAINS が運営する京都丹後鉄道の利用促進により与謝野駅の活性化に繋げていく道こそが有効な手法であると考えられます。

2 今後の展望

●管理・運営について

与謝野駅の管理・運営は町直営となっています。今後は京都丹後鉄道の運営に左右される部分がありますが、どういった管理・運営方法を採用していくか検討する必要があります。

その6 参考事項

●WILLER TRAINS「京都丹後鉄道」

京都府北部地域の公共交通の在り方が、平成 27 年 4 月に大きく変わりました。平成 2 年に JR 西日本から運行業務を引き継いだ KTR が、「北近畿タンゴ鉄道」の名称で列車の運行・乗車券等の販売事業を行っていましたが、平成 27 年度からは KTR が鉄道用地、鉄道施設等を保有し、WILLER TRAINS（ウィー・トレインズ）株式会社が鉄道用地、鉄道施設を有償で借り受け、鉄道事業者として運行を行うという「上下分離方式」を確立しました。これにより「北近畿タンゴ鉄道」は、新たに「京都丹後鉄道（略称：丹鉄）」の名称で運行業務を行うことになりました。

従来の沿線自治体が出資する第 3 セクター-KTR が鉄道施設等を計画的に整備・更新を行い、WILLER TRAINS という民間会社が鉄道運行を行うことで、民間のノウハウ・アイデアを最大限に活用した利用拡大・経営改善を図ることができ、公共交通の枠を超えた丹後地域の活性化にも大きな期待が寄せられています。



鉄道 北近畿タンゴ鉄道が変わります (4月1日以降)		KTR 北近畿タンゴ鉄道株式会社 から 京都丹後鉄道へ	
項 目	2015年3月31日まで	変更	2015年4月1日以降
運行会社	北近畿タンゴ鉄道株式会社 (TEL0772-25-2323)	新設	WILLER TRAINS株式会社 【列車時刻/運行状況/お忘れ物など運行に関するお問い合わせ】 宮津駅:0772-22-3307 (5:45~23:50) 【商品に関するご質問/ご意見/ご要望】 京都丹後鉄道代表:0772-25-2323 (平日9:00~18:00)
鉄道通称名	—	変更	京都丹後鉄道 (略称:丹鉄(たんてつ))
インターネット サイト	http://ktr-tetsudo.jp/	変更	http://trains.willer.co.jp/ 4月より京都丹後鉄道サイトとしてリニューアル。
駅名の変更	野田川駅 丹後大宮駅 木津温泉駅 丹後神野駅 甲山駅 厚中間屋駅 但馬三江駅	変更	与謝野駅 京丹後大宮駅 夕日ヶ浦木津温泉駅 小天橋駅 かぶと山駅 福知山市民病院口駅 コウノトリの郷駅
路 線	・宮津線 ・宮福線	新設	・宮舞線(西舞鶴-宮津区間)愛称新設 ・宮豊線(宮津-豊岡区間)愛称新設 ・宮福線 の3路線に。
くろまつ号	・丹後くろまつ1号(スイーツコース) ・丹後くろまつ3号(ランチコース) ・丹後くろまつ2号(地酒コース)	変更	・TANGO CAFE TRAIN(スイーツコース) ・丹後のあじわい ランチ列車(ランチコース) ・丹後のきらめき 会席弁当ディナー列車(ディナーコース)
企画乗車券と 購入・予約	現在10種類の企画乗車券を販売。北近畿 タンゴ鉄道サイトまたは各種駅や代理店 での予約・購入となります。	変更	全25種類。より便利でお得な乗車券の追加と変更有。 商品や時期により購入・予約方法が変更となります。 「丹鉄」でネット検索し、詳細をご確認ください。

※この時刻表に掲載している鉄道名や駅名等は3月現在のものです。4月1日以降は上表にて読み換えてご利用ください。